

一般社団法人量子フォーラム
2025 年度活動報告

2026 年 6 月 30 日／量子フォーラム事務局

【目次】

・ 目次	P.1
・ 全体報告	P.2
・ 企画委員会活動報告	P.3~P.28
・ 量子鍵配送技術推進委員会活動報告	P.29~P.35
・ 量子コンピュータ技術推進委員会活動報告	P.36~P.44
・ 量子計測・センシング技術推進委員会活動報告	P.45~P.49

【全体報告】

2025 年度の開催・参加実績は以下の通りである。

- 2025 年 4 月 10 日 第 6 回 QKD 技術審査会
- 2025 年 4 月 15 日～17 日 第 5 回量子コンピューティング EXPO【春】
- 2025 年 4 月 17 日 第 7 回 QKD 技術審査会
- 2025 年 4 月 24 日 第 8 回 QKD 技術審査会
- 2025 年 4 月 28 日 量子計測・センシング技術推進委員会(企画委員会)
- 2025 年 5 月 13 日 グローバル量子トモダチの会
- 2025 年 5 月 16 日 第 35 回量子鍵配送技術推進委員会
- 2025 年 5 月 20 日 第 64 回企画委員会
- 2025 年 5 月 21 日 第 5 回 Quantum Cafe「第 2 回／量子技術の知財戦略」についての勉強会
- 2025 年 6 月 13 日 量子計測・センシング技術推進委員会 総会～活動報告と動向俯瞰シンポジウム～
- 2025 年 6 月 16 日 SD、PSPD 量子フォーラム web サイトで公開
- 2025 年 6 月 27 日 第 65 回企画委員会
- 2025 年 7 月 24 日 第 66 回企画委員会
- 2025 年 8 月 5 日 第 36 回量子鍵配送技術推進委員会「QKD システムのエコシステムに関する検討会」
- 2025 年 8 月 8 日 第 67 回企画委員会
- 2025 年 9 月 3 日 量子×流体解析イベント企画に向けた専門家ヒアリング 第 1 回
- 2025 年 9 月 4 日 第 37 回量子鍵配送技術推進委員会「QKD、PQC 若手講演会」
- 2025 年 9 月 4 日 第 37 回量子鍵配送技術推進委員会 クローズド会合
- 2025 年 9 月 8 日 量子×流体解析イベント企画に向けた専門家ヒアリング 第 2 回
- 2025 年 10 月 1 日 第 38 回量子鍵配送技術推進委員会
- 2025 年 10 月 1 日 講演会「量子の時代は来るのか?社会を変えるテクノロジーの本質」
- 2025 年 10 月 8 日～10 日 第 6 回量子コンピューティング EXPO【秋】
- 2025 年 10 月 17 日 第 68 回企画委員会
- 2025 年 11 月 4 日 量子フォーラム&TTC 共催オンラインセミナー「衛星コンステレーションの進化と量子技術の交差点：～未来社会の通信基盤を探る～」
- 2025 年 11 月 14 日 量子計測・センシング技術推進委員会(企画委員会)
- 2025 年 12 月 3 日 第 69 回企画委員会
- 2025 年 12 月 15 日 国際量子科学技術年記念シンポジウム
- 2025 年 12 月 16 日 量子暗号技術セミナー「通信インフラへの統合、医療分野応用等への展開」
- 2026 年 1 月 23 日 第 70 回企画委員会
- 2026 年 3 月 25 日 第 6 回 Quantum Cafe「量子知財ワーキンググループ第 1 回」

【企画委員会 活動報告】萬 伸一委員長

1. 委員会の開催

■第 64 回企画委員会

日時：2025 年 5 月 20 日

開催形式：web 会議システム

参加者：萬委員長、事務局・岩村

内容：

- ・第 5 回 Quantum Cafe 次第について
- ・量子 100 年について
- ・企画委員会 2025 年度の活動について
- ・量子コンピューティング EXPO のご報告
- ・総会、特別講演会の準備についてご報告
- ・その他

■第 65 回企画委員会

日時：2025 年 6 月 27 日

開催形式：web 会議システム

参加者：萬委員長、事務局・岩村

内容：

- ・量子 100 年について
- ・企画委員会 2025 年活動予算と活動(案)について
- ・次回企画委員会について
- ・その他

■第 66 回企画委員会

日時：2025 年 7 月 24 日

開催形式：web 会議システム

参加者：萬委員長、事務局・岩村

内容：

- ・国際量子科学技術年記念シンポジウムの準備について
- ・今後の理事役割分担について
- ・SNS 運用について
- ・次回会報誌について
- ・その他

■第 67 回企画委員会

日時：2025 年 8 月 8 日

開催形式：web 会議システム

参加者：萬委員長、事務局・岩村

内容：

- ・国際量子科学技術年記念シンポジウムの準備について
- ・今後の理事役割分担について
- ・次回会報誌について
- ・次回 Quantum Cafe 知財戦略について
- ・その他

■第 68 回企画委員会

日時：2025 年 10 月 17 日

開催形式：web 会議システム

参加者：萬委員長、岩村・男澤（事務局）

内容：

- ・国際量子科学技術年記念シンポジウムの準備
- ・次回 Quantum Cafe
- ・次号会報誌
- ・その他ご報告

■第 69 回企画委員会

日時：2025 年 12 月 3 日

開催形式：対面会議（理化学研究所 和光キャンパス）

参加者：萬委員長、岩村（事務局）

内容：

- ・国際量子科学技術年記念シンポジウムの収支予算
- ・2025 年度残予算状況
- ・2026 年度予算案
- ・その他ご報告

■第 70 回企画委員会

日時：2026 年 1 月 23 日

開催形式：web 会議システム

参加者：荒川代表理事、萬委員長、岩村・男澤（事務局）

内容：

- ・OPIE'26 量子イノベーションフェア 2026
- ・次号会報誌

- ・その他ご報告

2. 量子コンピューティング EXPO 出展

■第5回量子コンピューティング EXPO【春】

量子計測・センシング技術推進委員会より、量子科学技術研究開発機構(QST) 量子生命科学研究所にご協力いただき、ブース内に展示物を設置した。詳細は下記の通りである。

【実施概要】

イベント名：第5回量子コンピューティング EXPO【春】

開催日時：2025 年 4 月 15 日～17 日 10:00～17:00

開催場所：東京ビッグサイト

来場者数：NexTech Week TOKYO 2024 spring (AI・人工知能 EXPO、ブロックチェーン EXPO、量子コンピューティング EXPO、デジタル人材育成支援 EXPO) 全体での来場者数

4/15(火)	4/16(水)	4/17(木)	3日間合計
7,231	9,745	10,769	27,745

量子フォーラムブース訪問者数：※名刺をカウント

訪問者種類	訪問者数
会員希望あり、コンタクト予定	15 名
会員関心あり、コンタクト予定	54 名
会員には関心なし	84 名
その他	32 名
量子フォーラム会員	16 名
計	200 名

【会場の様子】



■第6回量子コンピューティング EXPO【秋】

量子鍵配送技術推進委員会より、株式会社 Nobest にご協力いただき、ブース展示を行った。詳細は下記の通りである。

【実施概要】

イベント名：第 6 回量子コンピューティング EXPO 【秋】

開催日時：2025 年 10 月 8 日～10 月 10 日 10:00～17:00

開催場所：幕張メッセ

来場者数：※NexTech Week（AI・人工知能 EXPO、ブロックチェーン EXPO、量子コンピューティング EXPO、デジタル人材育成支援 EXPO）全体での来場者数

10/8(水)	10/9(木)	11/10(金)	3日間合計
6,054	6,883	7,377	20,314

量子フォーラムブース訪問者数（名刺数をカウント）

訪問者種別	人数
会員希望あり（A） ※コンタクト済み	37 名
会員関心あり（B） ※コンタクト済み	36 名
関心なし（C） ※コンタクト済み	25 名
量子フォーラム会員(関係者も含む)	25 名
計	123 名

【会場の様子】



4. 会員間交流会「Quantum Cafe」開催

■第5回 Quantum Cafe「第2回／量子技術の知財戦略」についての勉強会

【実施概要】

- ① イベント名：第5回 Quantum Cafe「第2回／量子技術の知財戦略」についての勉強会
- ② 開催日時：2025年5月21日(水) 16:00～19:00
- ③ 開催形式：会場・オンライン同時開催
- ④ 会場：ワイム貸会議室 Room B（東京都港区赤坂 2-3-5 赤坂スターゲートプラザ B1F）
- ⑤ 主催：一般社団法人量子フォーラム 企画委員会
- ⑥ 対象者：量子フォーラム正会員限定

（オブザーバー：府省庁関係者、大学関係者、企業等関係者）

⑦ プログラム：

16:00 開会挨拶

山崎 俊巳（一般社団法人量子フォーラム エグゼクティブアドバイザー）

16:02 『知財の“なぜ？”と“どうやって？”』

田村 佳孝様（独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT）
知財活用支援センター 知財戦略部長）

16:52 『その特許、本当に使える？売れる知財に変える3ステップ』

佐々木 隆仁様（AI データ株式会社 代表取締役社長）

17:42～17:50 休憩

17:50 質疑応答（パネルディスカッション）

ファシリテーター：

山崎 俊巳（一般社団法人量子フォーラム エグゼクティブアドバイザー）

登壇者：

田村 佳孝様（独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT）
知財活用支援センター 知財戦略部長）

佐々木 隆仁様（AI データ株式会社 代表取締役社長）

萬 伸一（一般社団法人量子フォーラム 企画担当理事）

18:50 閉会挨拶

萬 伸一（一般社団法人量子フォーラム 企画担当理事）

閉会后 登壇者を囲む会（於：於：ウマミタクラミ溜池山王店、会費制）

⑧ 参加者：36名（現地：17名、オンライン参加者：19名）

⑨ 登壇者を囲む会参加者：17名



田村様 (INPIT)



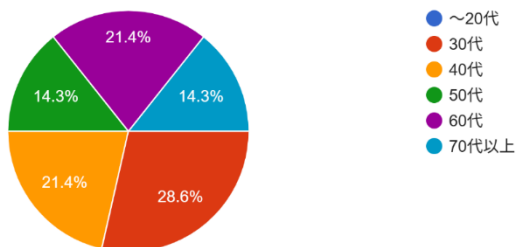
佐々木様 (AI データ株式会社)



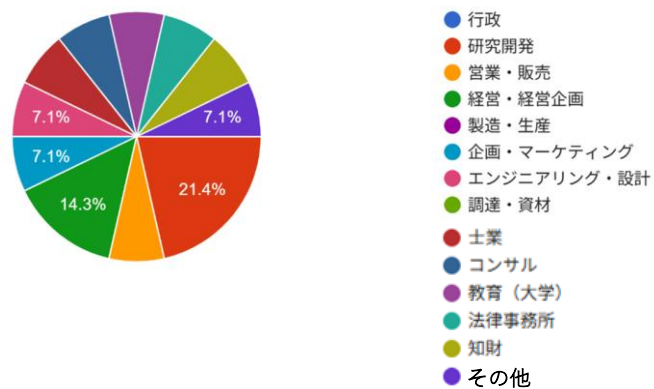
パネルディスカッション (山崎 EA、萬企画担当理事、田村様、佐々木様)

◇事務局による参加者へのアンケート結果は以下の通りです (回答者 14 名)

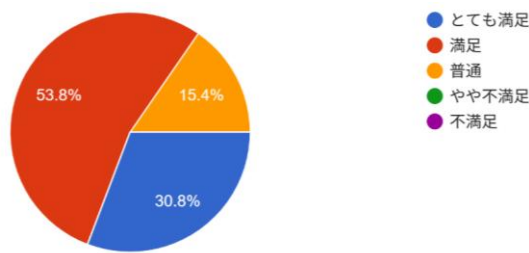
問 1. 年齢



問 2. ご所属部門



問 3. Quantum Cafe の全体について



問 4. 田村 佳孝様（独立行政法人 工業所有権情報・研修館（INPIT））のご講演「知財の“なぜ？”と“どうやって？”」について、ご感想とご要望をお聞かせください。

12 件の回答

- Q-LEAP の事例の紹介が知れてよかった。
- INPIT の知財支援業務の紹介だけに留まり、本質論に触れていないことが不満。
- 改めて知財の重要性を考えさせられました。
- INPIT の活動を具体的に知ることができてよかった。
- 「経営戦略を踏まえた知財戦略の組み立ての必要性」を企業様へ積極的に働きかけていただきたく存じます。多くの企業様（経営決定権をお持ちの方々の多く）は、未だに、知財は金がかかるだけだとお考えのようですので、よろしくお願いいたします。
- INPIT の活動について理解が深まりました。
- INPIT の活動の啓蒙になって良かったです。
- 中小企業や大学向けに無償のコンサルサービスを提供されているという事で大変貴重なお話をお聞き出来ました。ありがとうございました。
- 知財＝秘密情報と再認識し、社内での情報の扱いについての対応を再考した。
- 特許の現場とマスマーケット的な両方の観点での体験談がきけてよかった。
- 参考になった。
- 基本的な INPIT の取り組みが聞けて良かった。

問 5. 佐々木 隆仁様（AI データ株式会社 代表取締役社長）のご講演「その特許、本当に使える？ 売れる知財に変える 3 ステップ」について、ご感想とご要望をお聞かせください。

11 件の回答

- Tokyo AI を知らなかったなので、ぜひ使用したいと思った。
- 一度、使ってみたいというツールであった。
- 引き続きアンテナをはり、知見を得続けていきます。ありがとうございました。
- 知財戦略を立てる上での AI の活用方法を知ることができてよかった。
- 悉くご指摘の通りだと思いました。
- 実演いただいたのがリアリティがあり良かったです。
- 昨今の AI/LLM の技術をキャッチアップされており、興味深くお話を聞かせて頂きました。
- 当社では、守るための知財だけとなっている。以前、知財のセミナーで得た GE の航空エン

ジンに関する特許を社内展開したが、賛同されなかった。攻める知財を社内に広げていきたい。

- 田村さんの話の「質」を上げるために、実際にこれを活用できるという具体的な手法としての話としてとらえられた。実際に使いたい。
- 参考になった。特許申請に使ってみたい。
- 宣伝に終始し、タイトルの内容は聞けなかった。

問 6. 質疑応答（パネルディスカッション）について、ご感想をお聞かせください。

7 件の回答

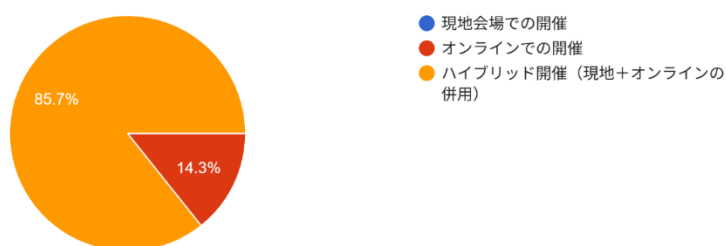
- 知財に関するパネルディスカッションは貴重なのでご意見が聞けてよかった。
- 組織同士の緩やかな連携がおそらく重要であることがわかってよかった。
- 様々な立場の方のご意見が聞けてためになりました。
- Open AI の使う立場での最前線な情報が伺えました。また、ちょうど答えやすい質問を振っていただいた岩村さんに感謝です。
- 会場での各企業での感じている点、実情を聞いたのはここでしか聞けない内容だったのでよかった。
- 特許 AI システム開発状況についての継続的な報告。
- 出席かなわず。

問 7. 今後、Quantum Cafe で取り上げてほしいテーマがございましたらお聞かせください。

7 件の回答

- 量子分野のハード（量子コンピュータ）、量子通信、量子インターフェース、暗号等の分野別に勉強会を開催して欲しい。
- 知財の観点はとても重要なので、引き続き企画していただきたいです。（アンケートのため匿名かと思いますが、小生も支援できます）
- 量子通信・暗号分野での標準特許の動向。諸外国での動向も併せてご教示いただきますと大変有難く存じます。
- 使える FTQC 実現のために必要なブレイクスルーの整理。
量子 SW の IP Landscape。
- プール戦略=知財集約だと思いますが、そこから、社会実装、ビジネスへ発展していく枠組み。
それがクローズドな感じで良いのか？と疑問もありますが。
- 各企業の特許を持ち合わせたら、新しい量子の共同プロジェクトとか立ち上がったらおもしろそうだが、難しそう。
- 量子機械学習研究の現状と課題。

問 8. 今後の Quantum Cafe の開催形式について、どの形式を希望されますか？



問 9. その他、イベントに関するご意見や感想があれば教えてください。

6 件の回答

- 共有頂ける資料があれば頂きたい。
- 今回のハイブリット開催において、会場での質問がオンライン聴講者にはよく聞こえませんでした。オンライン開催時の環境整備や準備を徹底して欲しい。
- 運営などありがとうございました。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
- 講演テーマが分からない状態で参加を決めたのですが、AI に関する講演が多くて驚きました。
- 質問時、マイクがうまく機能せずご不便をおかけしました。引き続きよろしくお願いいたします。
- 皆さまと気兼ねなく話せる場で楽しかったです。

■第6回 Quantum Cafe「量子知財ワーキンググループ第1回」

【実施概要】

- ①イベント名：第6回 Quantum Cafe「量子知財ワーキンググループ第1回」
- ②開催日時：2026年3月25日(水) 16:00～19:00
- ③開催形式：会場・オンライン同時開催
- ④会場：ビジョンセンター東京虎ノ門 405号室（東京都港区虎ノ門2-4-7 T-LITE 4F）
- ⑤主催：一般社団法人量子フォーラム 企画委員会
- ⑥対象者：量子フォーラム正会員限定(オブザーバー：府省庁関係者、大学関係者、企業等関係者)

⑦プログラム：

16:00 開会挨拶

萬 伸一（一般社団法人量子フォーラム 企画担当理事）

16:05 『AI時代の知財戦略—AI エージェントの現状』

平井 智之 様（リーガルテック株式会社 代表取締役 CEO AI データ株式会社アドバイザー）

16:35 『量子関連発明の知財戦略と特許調査・権利化のノウハウ』

角淵 由英 様（弁理士法人レクシード・テック パートナー弁理士）

17:05 『量子関連特許の動向と理化学研究所の取り組み』

井門 孝治 様（理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 高度研究支援専門職）

17:25～17:35 休憩

17:35 質疑応答（パネルディスカッション）

ファシリテーター：

萬 伸一（一般社団法人量子フォーラム 企画担当理事）

登壇者：

平井 智之 様（リーガルテック株式会社 代表取締役 CEO AI データ株式会社アドバイザー）

角淵 由英 様（弁理士法人レクシード・テック パートナー弁理士）

井門 孝治 様（理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 高度研究支援専門職）

18:45 閉会挨拶

佐々木 隆仁様（AI データ株式会社 代表取締役社長）

閉会后 登壇者を囲む会（於：CRAZY PIZZA TORANOMON、会費制）

⑧参加者：31名(現地：15名(登壇者、事務局含む)、オンライン参加者：16名)

⑨登壇者を囲む会参加者：10名



開会挨拶／萬企画担当理事



平井様



角淵様



井門様（理化学研究所）



パネルディスカッション（萬企画担当理事、井門様、平井様、角淵様）



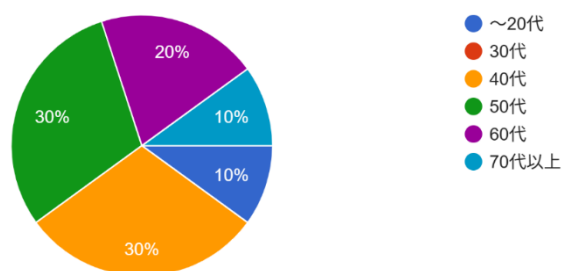
閉会挨拶／佐々木様



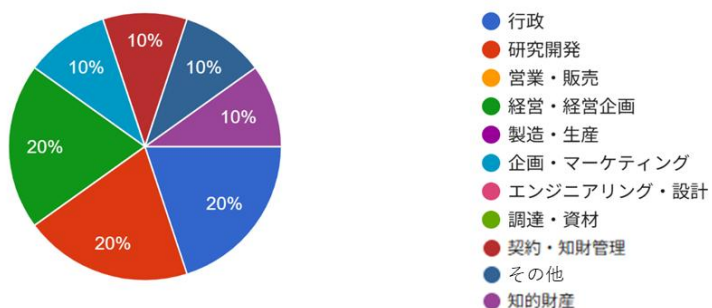
登壇者を囲む会

◇事務局による参加者へのアンケート結果は以下の通りです（回答者 9 名）

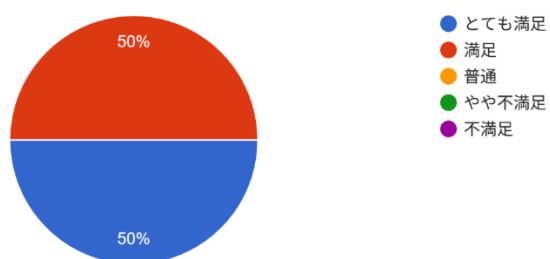
問 1. 年齢



問 2. ご所属部門



問 3. Quantum Cafe の全体について



問 4. 平井 智之様（リーガルテック、AI データ）のご講演「AI 時代の知財戦略ーAI エージェントの現状」について、ご感想をお聞かせください。

9 件の回答

- 特許関連の業務における AI 活用がスタンダードになる日が目の前(もう来ている)ことを理解できました。

- AI の進歩の速さを実感することができた。
- 特許の AI エージェントについての具体的な話を、今回初めて聞きました。実際のデモなどを拝見する機会があれば、ぜひ拝見したいと思いました。
- AI の導入によって、特許調査の敷居が低くなっていることを実感した。出願数が異常に伸びているお話は興味深かった。自身は法学部出身で、技術の理解ができないため知財の面では弱いと考えていたが、少しはやっていけるのではないかと希望を持てた。それでも量子分野の技術は理解が難しいが。
- AI を活用した知財活動に関して、どの様なものかを知る事ができ、非常に勉強になった。
- アイディアが権利化されるのかされないのかをソフトで判断するということがあったが、新規性と進歩性のソフトによる判断と審査官の実際の判断との差分が気になった（懇親会でも質問したものの、明瞭ではないように感じた）。
- AI エージェントの現状についてもっと詳しく説明する必要があります。
- もう少し実演が見たかった。
- AI エージェントのインパクトは分かりましたが、事例紹介がなかったので手触り感がありませんでした。

問 5. 角 淵 由英様（弁理士法人レクシード・テック）のご講演「量子関連発明の知財戦略と特許調査・権利化のノウハウ」について、ご感想をお聞かせください。

9 件の回答

- たくさんの note をご紹介いただきありがとうございました。ご説明いただいた内容は、量子関連発明に限らず、あらゆる分野での知財活動に活かせる、大変有益な情報でした。
- AI を使った量子関連技術の整理（スライド化）など有益な情報だった。
- 特許をビジネスに実用することを強く意識されていることがよく伝わり、大変勉強になりました。
- notebookLM での資料作成を試してみようと思った。研究者の考える技術の核心が明細書に反映されていなかった事例があったので、知財担当者が理解した技術内容を研究者に確認していただく方法として AI で作成した資料は使えるのではないかと思った。
- IoT を活用した文献調査・会社調査法などに関し、非常に勉強になった。
- 調査は手段であって目的ではない、というお話は同意。
- 生成 AI の作成した特許申請書類の不備について詳しく説明してほしい。
- 例として挙げられていた QuEra 社の分析が見やすく AI 利活用の参考になった。
- 生成 AI で特許調査を行うことの有効性やメリットを強く感じたので、自分でも実践してみたいと思いました。

問 6. 井門 孝治様（理化学研究所）のご講演「量子関連特許の動向と理化学研究所の取り組み」について、ご感想をお聞かせください。

9 件の回答

- 量子関連の動向と、大学における出願の動向をよく理解することができました。日米で

比べると、構造的な違いがありつつも、それを強みにでき得るとのお話を聞いて、日本の大学研究にはまだまだポテンシャルがあると確信できました。

- 産学連携の現場での話はとても有益だった。
- 欧米と日本の特許をとりまく状況の違いが印象に残りました。
- 自身の仕事に近い内容で、大変興味深かった。企業に出願してもらった方が、手間もお金もかからずクオリティーも高いので、自然と共願になるのだろうと思う。大学単願の場合と企業との共願の場合では収益が全く違うことは明らかなので、大学等が知財で収益を得たいのであれば根本から変える必要があるのだろうと思った。
- 大学や研究機関の活動を知る事ができました。
- アカデミアの単独保有特許を増やすためと言うよりもそもそも研究の意義は何のかをはっきりさせるためにも、平井さん、角渕さんの講演内容をアカデミアの研究者が実践すればいいのではないかと思った。
- 研究論文をもとに特許申請するときの問題点を整理する。
- 背骨の通ったお話に感銘を受けた。もっと大勢の方に聞いてもらいたいお話だった。
- 資料を頂いていなかったのも、予備知識なしではビジーで、内容把握があまりできませんでした。

問 7. 質疑応答（パネルディスカッション）について、ご感想をお聞かせください。

7 件の回答

- AI 時代における人の価値について、考えて責任を取ることであり、とご説明があり、腑に落ちました。技術はインフレしていく中で、人間の活動もより高度にしていく必要があることと、そのアシストをしてくれるのが AI であることを認識できました。
- 聴衆からの質問に対して、パネラーが回答もしくは議論する、という萬理事のファシリテーションが非常に良く、多くの有意義な回答や議論が引き出されたと思います。
- 知財調査には目的が大変重要であるということを再確認した。また、量子分野ならではの難しさは、みなさん同様に感じられていることがわかった。20 年問題については、単発の出願だと費用対効果の面で指摘されることがあり、意味を持たせるためにはポートフォリオ化が重要なのではないかと思った。
- 良い議論ができていたと思います。
- 専門的な特許申請内容を相談できる弁理士を分野別にリストに出す。
- 登壇者間で議論が割れる（白熱する）ような質問やテーマがあると面白いと思う。
- 時間の関係で見れませんでした。

問 8. 今後、Quantum Cafe で取り上げてほしいテーマがございましたらお聞かせください。

6 件の回答

- 量子コンピュータ・量子情報に関する注目すべき具体的な特許や特許出願について。
- レイヤーごとの特色を踏まえた特許戦略など。
- 超伝導・光・イオン・中性原子等の量子コンピュータの世界的な動向（研究・開発・実用の

3 Phase) を各分野の研究者に話してもらえると非常に参考になると考えています。

- 生成 AI で作った特許申請書類の不備についての説明。
- 知財を様々な切り口で、例えば自動車業界の方のお話を聞く、アニメや漫画の IP 業界の方のお話を聞く、など面白そう。
- 標準化の状況と日本の戦略や方針があればお願いしたいと思います。

問 9. 今後の Quantum Cafe の開催形式について、どの形式を希望されますか？



問 10. その他、イベントに関するご意見やご感想があれば教えてください。

4 件の回答

- 多くの示唆に富むイベントでした。企画・運営してくださった皆様、講演してくださった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- 次回のイベントに期待する。
- 会場も意見交換会もアクセスが良く満足です。
- 井門さんの資料を配布して頂ければ復習したいと思っています。

【国際量子科学技術年記念シンポジウム 活動報告】

実施概要

タイトル	国際量子科学技術年記念シンポジウム
主 旨	2025 年は、行列力学の誕生によって量子力学の研究が本格的に始まってから、ちょうど 100 年の節目を迎える年にあたる。本シンポジウムは、量子科学技術のこれまでの 100 年を振り返りつつ、量子コンピュータ、量子通信、量子計測・センシングなどの先端分野が切り拓く未来社会を展望し、あわせて産官学の交流により量子技術の社会実装を一層促進することを目的とする。
日 時	2025 年 12 月 15 日 月曜日 13 時 30 分～17 時 40 分（開場：13 時 00 分）
会 場	東京大学 本郷キャンパス 安田講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）
主 催	一般社団法人量子フォーラム
共 催	一般社団法人量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR） 量子技術イノベーション拠点（QIH）
後 援	内閣府、文部科学省、経済産業省、総務省 一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人情報処理学会、公益社団法人日本化学会
参加者	387 名（シンポジウム開始後 30 分時点での来場者数）
資料展示	JSR 株式会社 KDDI 株式会社 NTT 株式会社 NTT アドバンステクノロジー株式会社 クオンティニウム株式会社（パネル・デモ） 株式会社デンソー 株式会社東芝（パネル・デモ） 合同会社デロイト トーマツ 東京科学大学（パネル・デモ） 富士通株式会社 理化学研究所 量子技術イノベーション拠点（QIH） 量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR） （50 音順）
意見交換会	参加者 139 名 会場：東京大学 山上会館 四季郷土料理かどや 山上亭 時間：18:00～19:40 参加費：6,000 円（税込）

プログラム

時 間	内 容
13:00	開場
13:30	開会挨拶 荒川泰彦（量子フォーラム代表理事、東京大学 特任教授）
13:45	来賓挨拶（祝辞） 木原誠二（衆議院議員、量子産業創出プロジェクトチーム座長） 藤井輝夫（東京大学 総長） 福永哲郎（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官） 島田太郎（一般社団法人量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR）代表理事、株式会社東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO）
14:00	講演I「量子力学と時計」 香取秀俊（東京大学 教授）
14:35	講演II「量子力学とコンピューティング」 中村泰信（理化学研究所 量子コンピュータ研究センター長）
15:10	休憩・展示（35分）
15:45	講演III「量子力学と通信」 鯨岡真美子（株式会社東芝 上席研究員）
16:20	パネルディスカッション 「日本量子技術、産業強化へ向けた政府・学界・産業界のアクション」 モデレーター：佐田豊（量子フォーラム 副代表理事、株式会社東芝 上席常務執行役員CTO） パネリスト：相原博昭（東京大学 理事・副学長）、島田太郎（株式会社東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO）、竹内繁樹（京都大学 教授）、松岡智代（株式会社QunaSys COO）、森本典繁（日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役副社長・執行役員）
17:15	閉会挨拶 北川勝浩（量子フォーラム副代表理事、大阪大学 特任教授）

登壇者一覧



荒川泰彦（量子フォーラム代表理事）

東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構特任教授。1975 年東京大学工学部卒、1980 年同大学院博士課程修了。同年東京大学生産技術研究所講師、1981 年同助教授、1993 年同教授。2006 年同大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構長。2018 年より現職。東京大学名誉教授。主たる受賞等は、文化功労者、日本学士院賞、紫綬褒章、江崎玲於奈賞、藤原賞、C&C 賞、産学官連携功労者表彰内閣総理大臣賞、IEEE David Sarnoff 賞、Heinrich Welker 賞、IEEE Jun-ichi Nishizawa メダル、URSI Balthasar Van der Pol Gold メダル。全米工学アカデミー外国人会員。



木原 誠二

衆議院議員 6 期目、自由民主党科学技術・イノベーション戦略調査会 量子産業創出 PT 座長。

東京大学法学部卒業。1993 年大蔵省入省。同省で数々の役職を歴任、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカルサイエンス(LSE)にて修士号を取得。英国財務省に出向。2005 年退官、衆議院議員選挙に出馬・当選。外務大臣政務官 (2013-14 年)、外務副大臣 (2015-16 年)、自民党政務調査会副会長・事務局長 (2017-20 年)、衆議院内閣委員長 (2020 年)、内閣官房副長官 (2021-23 年)、自民党幹事長代理(2023-24 年)、自民党選挙対策委員長(2024-25 年) を歴任。



藤井 輝夫

東京大学 総長

1993 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了・博士 (工学)、同生産技術研究所や理化学研究所での勤務を経て、2007 年東京大学生産技術研究所教授、2015 年同所長。2018 年東京大学大学執行役・副学長、2019 年同理事・副学長 (財務、社会連携・産学官協創担当) を務め、2021 年より同総長に就任。専門分野は応用マイクロ流体システム、海中工学。



福永 哲郎

内閣官房 内閣審議官、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統括官 (人工知能等担当)、人工知能政策推進室長

東京大学経済学部卒、米国エモリー大学 MBA 取得。通商政策、経済安全保障、デジタル政策などに従事。



島田 太郎

株式会社東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO、量子技術による新産業創出協議会 (Q-STAR) 代表理事 新明和工業株式会社、シーメンス株式会社などを経て、2018 年 10 月にコーポレートデジタル事業責任者として株式会社東芝に入社。2019 年 4 月より執行役常務 最高デジタル責任者、2020 年 4 月より東芝デジタルソリューションズ株式会社 取締役社長を歴任。2022 年 3 月に株式会社東芝 代表執行役社長 CEO に就任し、2023 年 12 月より代表取締役 社長執行役員 CEO 現在に至る。2022 年 5 月より一般社団法人量子技術による新産業創出協議会 (Q-STAR) 代表理事を務める。



香取 秀俊

東京大学大学院工学系研究科・教授、理化学研究所・光子工学研究センター、チームディレクター

1988 年東京大学工学部卒、1991 年同大学教務職員、1994 年博士 (工学)。1994 年マックス・プランク量子光学研究所・客員研究員。1999 年東京大学工学部附属総合試験所、助教授、2010 年より現職。2011 年理化学研究所、香取量子計測研究室主任研究員。2018 年より科学技術振興機構未来社会創造事業プログラムマネージャ。2023 年より日本学士院会員 (第 2 部、第 4 分科)。ラビ賞、ジーボルト賞、朝日賞、仁科賞、紫綬褒章、日本学士院賞、江崎玲於奈賞、基礎物理学ブレイクスルー賞、Micius 賞、本田賞など受賞。



中村 泰信

理化学研究所量子コンピュータ研究センター・センター長

1990 年東京大学工学部卒、1992 年東京大学大学院修士課程修了。同年 NEC 基礎研究所研究員、2005 年 NEC 基礎・環境研究所主席研究員、2011 年博士（工学）取得。2012 年東京大学先端科学技術研究センター教授、2014 年理化学研究所創発物性科学研究センターチームリーダー兼務。2021 年より現職。2022 年より、東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻教授。主たる受賞等は、サー・マーティン・ウッド賞、仁科記念賞、Agilent Technologies Europhysics Prize、Simon Memorial Prize、江崎玲於奈賞、朝日賞、Micius Quantum Prize、日本学士院賞、報公賞、C&C 賞。



鯨岡 真美子

株式会社東芝 総合研究所 研究開発企画部技術企画室 参事 兼 AI デジタル R&D センターコンピュータ & ネットワークシステム研究部 上席研究員。2005 年上智大学理工学部卒、2010 年同大学院博士課程修了。同年株式会社東芝に入社、量子情報デバイスの研究開発に従事。現在は、総合研究所の研究開発戦略立案、及び量子暗号通信・量子インターネットの研究開発に従事。



佐田 豊（量子フォーラム副代表理事）

株式会社東芝 上席常務執行役員 CTO

1993 年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了、同年 10 月株式会社東芝入社、2005 年東芝欧州研究所副所長、2012 年東芝中国社研究開発センター長、2017 年技術統括部長、2018 年研究開発センター所長、2020 年執行役員、2022 年執行役常務 CTO、CISO、2023 年上席常務執行役員 CTO。主たる受賞は、日本機械学会論文賞。日本学術会議会員、日本工学会フェロー、日本機械学会フェロー。



相原 博昭

東京大学理事・副学長、教授

1978 年東京大学理学部卒、1984 年同大学院博士課程退学後同大学理学部助手。1991 年カリフォルニア大学ローレンスバークレー研究所物理部助教授、1995 年東京大学大学院理学系研究科助教授、2003 年同教授、2012 年同研究科長・理学部長等を経て 2021 年より現職。東京大学名誉教授。井上學術賞、The Breakthrough Prize in Fundamental Physics、High Energy and Particle Physics Prize of the European Physical Society などを受賞。



竹内 繁樹

京都大学教授、光量子センシング教育研究センター長

1991 年京都大学理学部卒、1993 年同大学院修士課程修了、同年三菱電機中央研究所研究員（2000 年京都大学博士）、1999 年北海道大学講師、2000 年同助教授、2007 年同教授、2014 年京都大学教授。光量子情報・光量子センシングの研究。2005 年文部科学大臣表彰若手科学者賞、2006 年応用物理学会光学論文賞、2010 年日本学術振興会賞、2013 年北海道大学総長賞、2015 年大阪科学賞、2016 年光・量子エレクトロニクス業績賞（宅間宏賞）、2024 年光産業技術振興協会櫻井健二郎氏記念賞等。



松岡 智代

株式会社 QunaSys COO

京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士課程にて博士（工学）を取得後、Arthur D. Little Japan にて、化学・素材・自動車を中心とした製造業に対する新規事業戦略・中長期戦略の策定支援を行う。2020 年 1 月、QunaSys に入社。



森本 典繁

日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役副社長執行役員 最高技術責任者

1987 年慶應義塾大学理工学部卒業後、日本 IBM 入社。MIT 留学、同 Media Lab での研究員経験や米国ワトソン研究所勤務を経て、グローバル研究戦略を担当し世界 10 地域で新研究所設立を推進。2009 年以降東京基礎研究所所長、アジア太平洋 CTO を歴任し、2017 年より執行役員、研究開発担当。現在は副社長兼 CTO として AI、量子技術、半導体分野を含む IBM の技術戦略を牽引。前情報処理学会会長、大学特任教授、政府会議メンバーとして産官学連携や次世代技術戦略に深く関与。



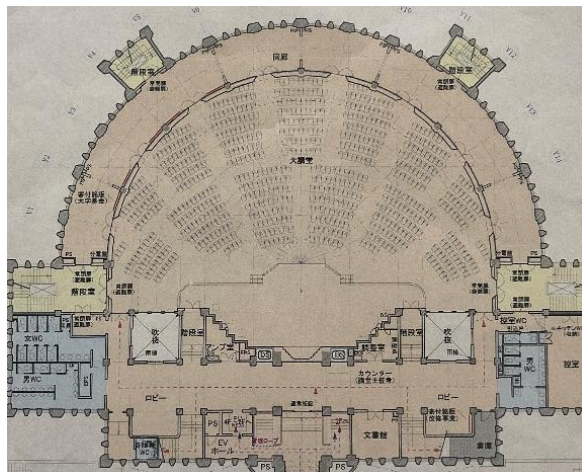
北川 勝浩（量子フォーラム副代表理事）

大阪大学量子情報・量子生命研究センター長

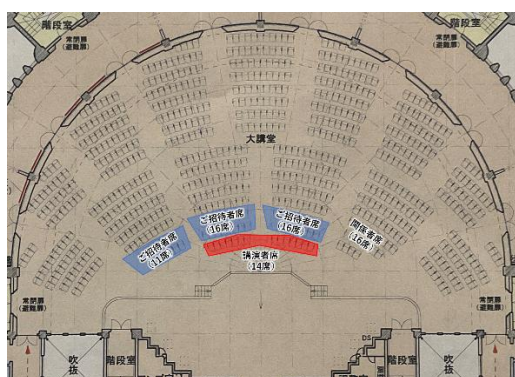
1981 年大阪大学工学部卒、1983 年同大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所研究員、1992 年 NTT 基礎研究所主任研究員、1993 年同退職。同年大阪大学助手、1996 年同講師、1997 年同助教授を経て、2003 年同教授、2018 年同先導的学際研究機構量子情報・量子生命研究部門長等を経て 2021 年より現職。2024 年同特任教授（常勤）。大阪大学名誉教授。2020 年より JST ムーンショット目標 6 構想ディレクター、COINEXT 量子ソフトウェア研究拠点プロジェクトリーダー。主たる受賞等は、Physical Review A 50th Anniversary Milestones。

会場概要

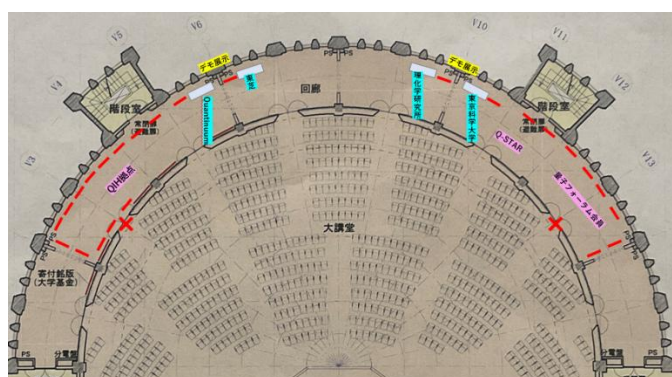
東京大学 本郷キャンパス 安田講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）



座席レイアウト



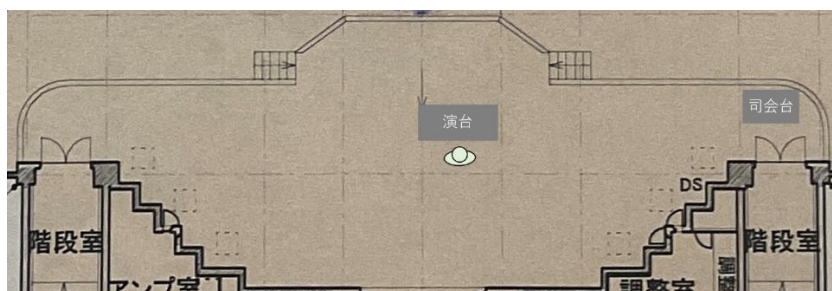
展示レイアウト



展示ポスター一覧



壇上位置／演台



壇上位置／パネルディスカッション



会場写真



開会挨拶 荒川泰彦（量子フォーラム代表理事）



来賓挨拶

左から木原誠二様、藤井輝夫様、福永哲郎様、島田太郎様



講演Ⅰ「量子力学と時計」 香取秀俊様



講演Ⅱ「量子力学とコンピューティング」 中村泰信様



講演Ⅲ「量子力学と通信」 鯨岡真美子様



パネルディスカッション「日本量子技術、産業強化へ向けた政府・学術界・産業界のアクション」



モデレーター：佐田豊（量子フォーラム 副代表理事）

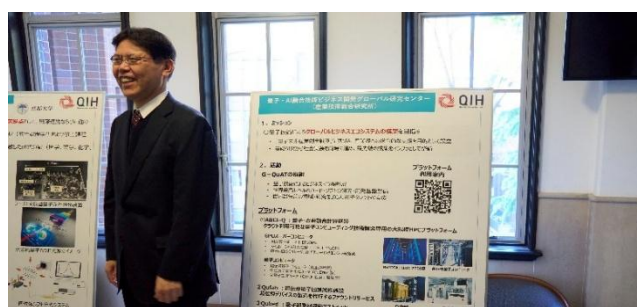
パネリスト：左から松岡智代様、森本典繁様、島田太郎様、竹内繁樹様、相原博昭様

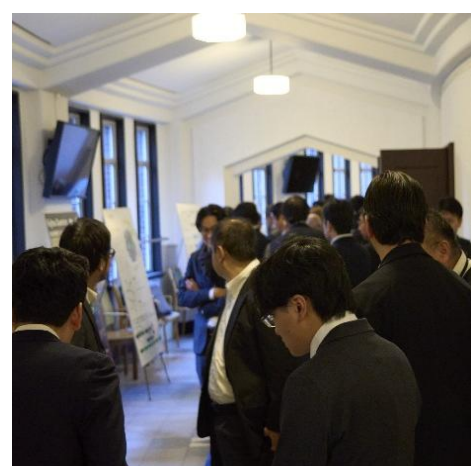


閉会挨拶 北川勝浩（量子フォーラム副代表理事）



併設展示





以上

【量子鍵配送技術推進委員会 活動報告】佐々木 雅英委員長

1. 委員会の開催

■第6回 QKD 技術審査会 4月10日(木) 16:00~18:00

(総務省プロジェクト QKD CC/PP 会議との合同)

■第7回 QKD 技術審査会 4月17日(木) 16:00~18:00

(総務省プロジェクト QKD CC/PP 会議との合同)

■第8回 QKD 技術審査会 4月24日(木) 16:00~18:00

(総務省プロジェクト QKD CC/PP 会議との合同)

■第35回量子鍵配送技術推進委員会

日時：5月16日(金) 15:00~16:40

場所：Web 会議システムによるリモート会合

会議形態：クローズ会合（オブザーバお声がけ：総務省様）

参加者：30名（QKD 委員 27名、事務局 3名）

プログラム：

開会挨拶：佐々木 雅英（量子鍵配送技術推進委員会 委員長）

（1）令和6年度の活動報告 説明・質疑 20分

- ・佐々木委員長 全体説明
- ・谷澤副委員長 QKD 実装安全性検討 WG の活動概要

（2）技術動向紹介

- ・鳥羽 牧委員（TOPPAN デジタル株式会社）

「QKD ネットワークへのアクセス制御を強化する PQC CARD®の開発」

ご発表 20分+質疑・意見交換 10分

（3）委員自己紹介・意見交換 10分 x 2名

- ・内田 諒委員（株式会社セック）
- ・田中 基貴委員（株式会社オプテージ）

（4）令和7年度の活動計画、その他

- ・佐々木委員長「全体計画案」
- ・谷澤副委員長「第36回量子鍵配送技術推進委員会案」
- ・水谷幹事「第37回量子鍵配送技術推進委員会案」

上記3名より、活動計画についての説明がなされた。説明・意見交換 30分

閉会挨拶：佐々木 雅英（量子鍵配送技術推進委員会 委員長）

■第36回量子鍵配送技術推進委員会

「QKD システムのエコシステムに関する検討会」

日時：8月5日(火) 10:00~12:00

場所：Web 会議システムによるリモート会合

会議形態：オープン会合

参加者：112 名（QKD 委員 31 名、事務局 4 名を含む）

プログラム：

委員長挨拶：佐々木 委員長（国立研究開発法人情報通信研究機構）

（１）委員自己紹介

- ・宿谷委員（サイバートラスト株式会社）
- ・鶴丸委員（三菱電機株式会社）

（２）IT セキュリティ機器の認証に係るエコシステム事例

- ・山屋 賢司様(株式会社 ECSEC Laboratory)

（３）QKD システムの認証要件について

- ・加藤委員（国立研究開発法人情報通信研究機構）

（４）QKD システムの評価要件について

- ・小芦副委員長（東京大学）

（５）QKD システムのエコシステムについて（計測機器・モジュール分野からの視点）

- ・高橋委員（キーサイト・テクノロジー株式会社）

（６）QKD システムのエコシステムについて（ファイバネットワーク分野からの視点）

- ・玉置委員（住友電気工業株式会社）

（７）エコシステムに関するディスカッション

コーディネータ：佐々木委員長

パネリスト：山屋様、小芦副委員長、加藤委員、高橋委員、玉置委員

■第 37 回量子鍵配送技術推進委員会

「QKD、PQC 若手講演会」

日時：9 月 4 日（木）13:00~15:10

場所：Web 会議システムによるリモート会合

会議形態：オープン会合

参加者：139 名（QKD 委員 34 名、事務局 4 名を含む）

プログラム：

開会挨拶：水谷 明博（量子鍵配送技術推進委員会 幹事）

（１）招待講演 1「代表的な直接伝送型 QKD と長距離 QKD」

川上 駿様（NTT 株式会社）

現実的な装置で実装可能な直接伝送型の QKD プロトコル（特に BB84）についてご紹介いただき、QKD の課題である長距離化に対する進展を理論的側面からご説明いただいた。

（２）招待講演 2「PQC チュートリアル」

相川 勇輔様（東京大学）

耐量子計算機暗号（PQC）の標準化について安全性の観点からご紹介いただいた。PQC の標準化は NIST を中心に進行中であり、移行も活発化であるとは説明いただいた。

（３）招待講演 3「漸近的に最適な鍵効率を達成する位相誤り型安全性証明」

松浦 孝弥様（理化学研究所）

量子鍵配送の安全性証明手法の1つである位相誤り訂正についてご紹介いただいた。位相誤り訂正の考え方に新手法を組み合わせることで、多くのプロトコルで漸近的に最適な鍵効率に収束する有限長の安全性証明手法をご説明いただいた。

(4) 招待講演4「耐量子計算機署名：QR-UOV」

古江 弘樹様 (NTT 株式会社)

耐量子計算機暗号に関するご研究と特に QR-UOV 署名方式の概要についてご紹介いただいた。QR-UOV の標準化に向けて新たな攻撃手法やサイドチャネルへの耐性、安全性評価、実装の高速化など多方面での研究と改善が求められているとご説明いただいた。

閉会挨拶：佐々木 雅英 (量子鍵配送技術推進委員会 委員長)

■第 37 回量子鍵配送技術推進委員会

日時：9 月 4 日 (木) 15:10~15:40

場所：Web 会議システムによるリモート会合

会議形態：クローズド会合

参加者：36 名 (QKD 委員 33 名、事務局 3 名)

議事：

(1) 量子鍵配送技術推進委員会規程の改正

- ・佐々木委員長より、(活動内容) 第 3 条への追記 (2 点) について説明がなされた。文言の追記については再度検討することとなった。

(2) 量子鍵配送技術推進委員会運営細則の改正

- ・佐々木委員長より、(委員の定足数および議決) 第 4 条における委任状の追記および委任状のひな型について説明がなされ、承認された。

- ・委任状の提出は、メール送付で運用する。また、委任状のご意見欄については、あくまで参考意見として取扱い、最終的な議決については出席委員による審議を経て、委員長に一任する形である。

- ・佐々木委員長より、(作業部会の設置) 第 8 条における 2 項、4 項の改定、および 5 項、6 項の追記について説明がなされた。当該改正案の審議は次回委員会にて行うこととなった。

(3) QKD 技術コンサルティングサービスに関する受託事業構想について

- ・佐々木委員長より、「QKD 技術コンサルティングサービスに関する受託事業構想」および量子鍵配送安全性検討部会設置細則、量子鍵配送安全性検討部会委嘱状 (座長・構成員・アドバイザー) について、説明がなされた。

■第 38 回量子鍵配送技術推進委員会

日時：10 月 1 日 (水) 16:00~17:00

場所：Web 会議システムによるリモート会合

会議形態：クローズド会合

参加者：41 名 (QKD 委員 31 名、委任状提出 7 名、事務局 3 名)

議事：

概要説明：佐々木委員長より、本日の議事について概要説明がなされた。

（１）量子鍵配送技術推進委員会規程の修正

・佐々木委員長より、（活動内容）第３条への追記（前回委員会での指摘事項の反映）について説明がなされ、承認された。

（２）量子鍵配送技術推進委員会運営細則の修正

・佐々木委員長より、（作業部会の設置）第８条への追記（前回委員会からの追加分）について説明がなされ、承認された。

（３）量子鍵配送安全性検討部会および量子鍵配送技術審査会の設置細則の作成

・佐々木委員長より、今回設置細則に新たに導入される内容について、第７条（検討部会および審査会に共通する事項）に関する説明がなされ、承認された。

（４）量子鍵配送安全性検討部会の委嘱状の修正

・佐々木委員長より、前回委員会での指摘を踏まえ、追加および修正事項の説明がなされ、承認された。

（５）量子鍵配送技術審査会の委嘱状の作成

・佐々木委員長より、量子鍵配送安全性検討部会の委嘱状に準じて、同様の内容で作成すると説明がなされ、承認された。

（６）業務委託契約書の作成

・佐々木委員長より、業務委託契約書の説明がなされ、報告事項として共有された。

■量子フォーラム&TTC 共催オンラインセミナー

「衛星コンステレーションの進化と量子技術の交差点：～未来社会の通信基盤を探る～」

日時：11月4日（火）13:30～16:20

開催方式：Zoom Webinar

共催：一般社団法人量子フォーラム、一般社団法人情報通信技術委員会(TTC)

協賛：一般社団法人量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR）

参加者：280名

プログラム：

時刻	講演内容	講演者
13:30～13:35	開会挨拶	量子フォーラム 技術担当理事 佐々木 雅英氏
13:35～13:40	来賓挨拶	総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課長 扇 慎太郎氏
13:40～14:05	衛星通信業界の最新動向と QKD 衛星の 社会実装へ向けた取組み	スカパーJSAT 株式会社 宇宙ソリューション事業本部 官公事業部 部長代行 田中 賢太郎氏

14:05～14:30	KDDI における衛星通信サービスの進化と最新動向	KDDI 株式会社 コア技術統括本部 技術企画本部 技術企画部 通信プラットフォーム グループリーダー 志田 裕紀氏
14:30～14:55	NTT ドコモにおける宇宙関連通信サービスの取り組みと最新動向	株式会社 NTT ドコモ 6G テック部 担当部長 永田 聡氏
14:55～15:20	衛星通信と量子技術の融合がもたらす新たな価値	Q-STAR 量子暗号・量子通信部会 部会長 東芝デジタルソリューションズ株式会社 花井 克之氏
15:20～15:30	休憩	
15:30～16:15	パネルディスカッション 衛星コンステレーション、6G・IOWN 構想、量子技術は今後どのように融合し、どのような価値を創出するか	モデレーター：佐々木 雅英氏 パネリスト：田中 賢太郎氏、 志田 裕紀氏、永田 聡氏、 花井 克之氏
16:15～16:20	閉会挨拶	一般社団法人情報通信技術委員会 事務局長 田尻信行氏

セミナーの様子



左から田尻 信行氏、花井 克之氏、志田 裕紀氏、
田中 賢太郎氏、永田 聡氏、佐々木 雅英氏



扇 慎太郎氏（リモート講演）

■量子暗号技術セミナー「通信インフラへの統合、医療分野応用等への展開」

日時：12月16日（火）13:30～16:30

開催方式：Webex

主催：一般社団法人量子フォーラム 量子鍵配送技術推進委員会

参加者：170名

プログラム：

時刻	講演内容	講演者
13:30～ 13:35	開会挨拶	量子フォーラム 理事 富田 章久氏
13:35～ 13:40	来賓挨拶	総務省 国際戦略局 技術政策課 研究推進室 室長 大野 誠司氏
13:40～ 14:05	「量子暗号の最新動向・社会実装に向けた取り組み」	情報通信研究機構 量子 ICT 協創センター 研究センター長 藤原 幹生氏
14:05～ 14:20	「医療分野からの量子セキュリティへの期待」	国立がん研究センター 東病院 医薬品開発推進部 トランスレーショナルリサーチ支援室 医員 今井 光穂氏
14:20～ 14:45	「PQC と QKD をハイブリッド活用した実用的なシステム」	NTT ドコモビジネス株式会社 イノベー ションセンター 技術戦略部門/IOWN 推進室(兼) 耐量子暗号エバンジェリス ト 森岡 康高氏
14:45～ 14:55	休憩	
14:55～ 15:20	「量子鍵配送とオール光ネットワークの連携に向けた研究開発」	日本電気株式会社 アドバンスドネット ワーク研究所 量子暗号システム研究グ ループ 主任研究員 河原 光貴氏
15:20～ 15:45	「量子暗号の社会実装に向けた研究開発」	株式会社東芝 研究開発センター 情報通信プラットフォーム研究所 研究 主務 米良 恵介氏
15:45～ 16:15	質疑・意見交換セッション	モデレータ： 量子フォーラム 技術担当理事 佐々木 雅英氏
16:15～ 16:20	閉会挨拶	量子フォーラム 技術担当理事 佐々木 雅英氏

2. 技術文書の公開

- ・6月16日にSD、PSPDについて、量子フォーラム web サイトで公開した。

技術文書／ガイドライン

<https://qforum.org/documents>

- ・PPについては、7月末頃までは評価作業・認証作業が行われ、IPAが報告書確認完了通知・認証報告書(案)を発行するのが、最速で8月中旬だと予想している。その後、40日後位に認証審議委員会開催、認証報告書発行が9月末頃と想定している。
報告書確認完了通知・認証報告書(案)が発行されるタイミングで公開する場合、PPの発刊は早くて8月中旬になりそうである。

3. QKD 技術コンサルティングサービス

■日本電気株式会社様

案件「安全性証明文書の作成に向けた量子鍵配送装置の安全性分析」について作業が完了しました。

以上

【量子コンピュータ技術推進委員会 活動報告】田中 宗委員長

1. 委員会の開催

■「グローバル量子トモダチの会」

主催：(一社) 量子フォーラム 量子コンピュータ技術推進委員会

日時：2025 年 5 月 13 日 (火) 16:00～20:00

形式：会場・オンライン同時開催

会場：Deloitte Tohmatsu Innovation Park Room D Auditorium

(東京都千代田区丸の内 3 - 3 - 1 新東京ビル 8F)

参加費：無料、ネットワーキングの参加希望者は 4,500 円 (税込)

言語：英語

参加者：130 名 (現地 89 名、オンライン 41 名)

登壇者を囲む会：81 名

プログラム：

16:00～ ご挨拶

田中 宗 (慶應義塾大学 量子コンピュータ技術推進委員会 委員長)

16:05～ Global Startup Pitch - 12 startups

Tommaso Demarie (CEO, Entropica Labs)

Steve Gibson (Chief Revenue Officer, Strangeworks)

Yehuda Naveh (Co-Founder & CTO, Classiq Technologies)

中田 宙志 (COO, Jij)

松下 雄一郎 (CEO, Quemix)

Yuval Boger (CCO, QuEra Computing)

吉村 英明 (Director, Quantum Brilliance)

Jason Lynch (CEO, Equal1)

Geoff Pryde (Chief Technical Director, PsiQuantum)

杉浦 敦 (Manager, OQC)

Edward Wood (VP Product, Nu Quantum)

Gilad Ben-Shach (VP, Business Development, Quantum Machines)

18:00～ 閉会挨拶

寺部 雅能 (デロイト トーマツ グループ 量子コンピュータ技術推進委員会 幹事)

18:00～20:00 ネットワーキング

田中委員長



Tommaso Demarie 氏



Steve Gibson 氏



Yehuda Naveh 氏



中田 宙志 氏



Yuval Boger 氏



松下 雄一郎 氏



吉村 英明 氏



Jason Lynch 氏



Geoff Pryde 氏



杉浦 敦 氏



Edward Wood 氏



Gilad Ben-Shach 氏



寺部幹事

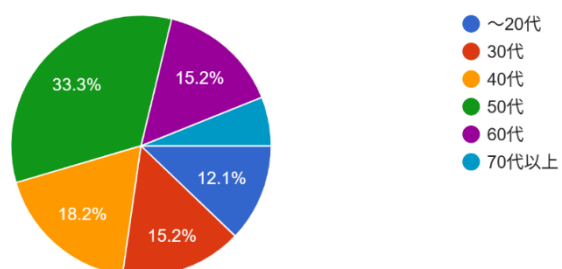


登壇者集合写真

■ 参加者アンケート結果

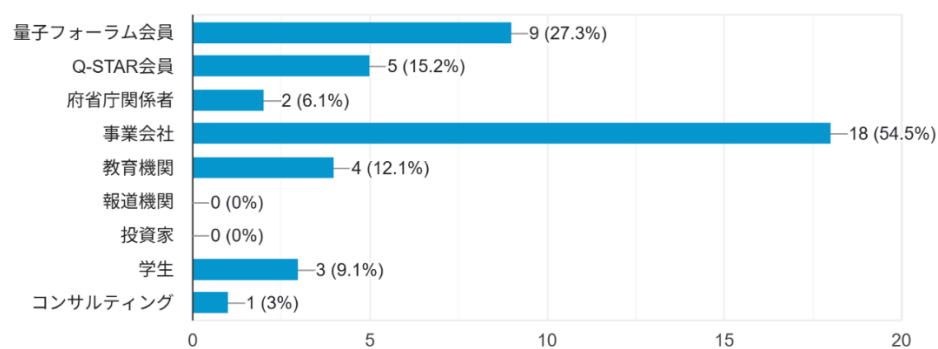
問 1.年齢

33 件の回答



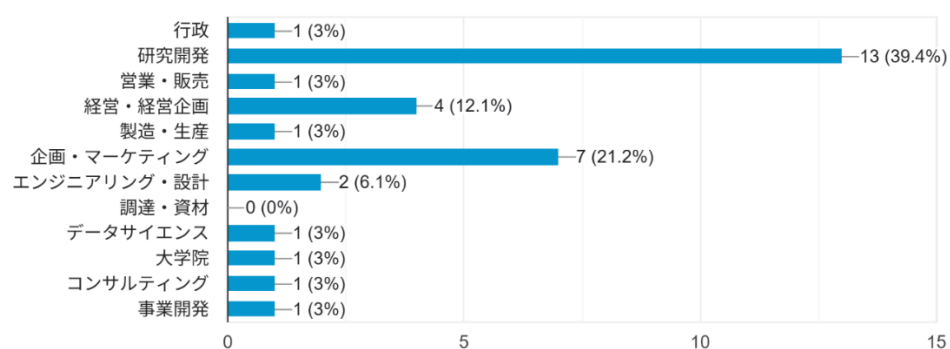
問 2.属性（複数回答可）

33 件の回答



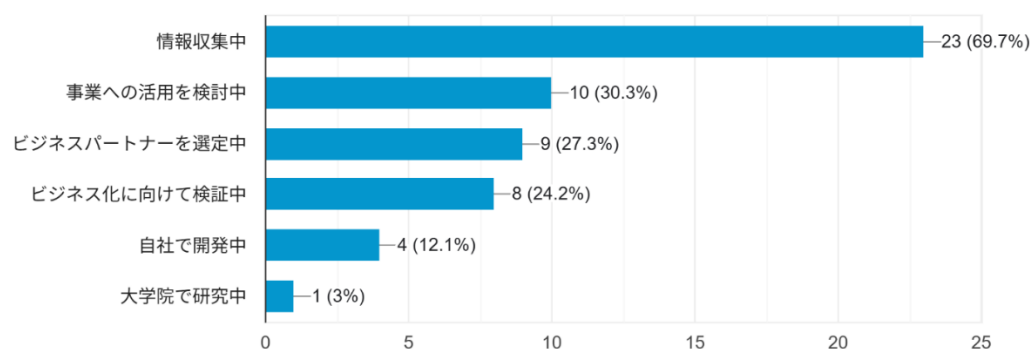
問 3.ご所属部門

33 件の回答



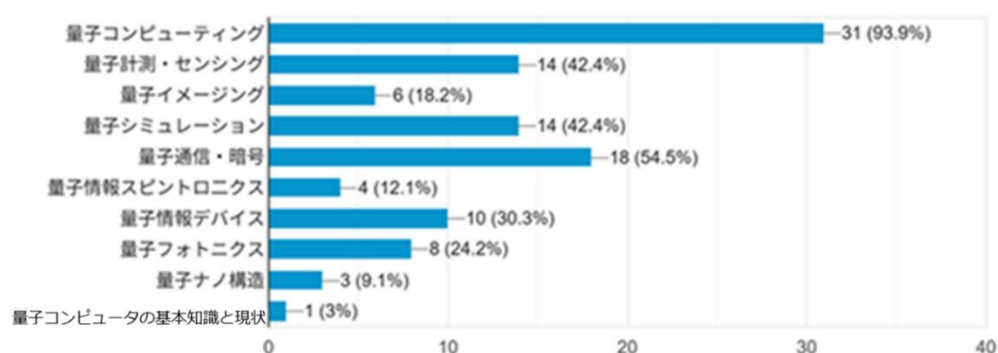
問4.量子関連技術との関わりについてお聞かせください。(複数回答可)

33 件の回答



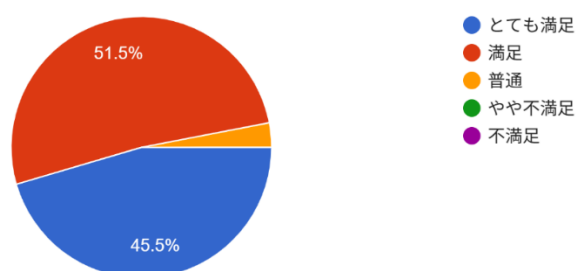
問5.興味のある量子関連技術をお聞かせください。(複数回答可)

33 件の回答



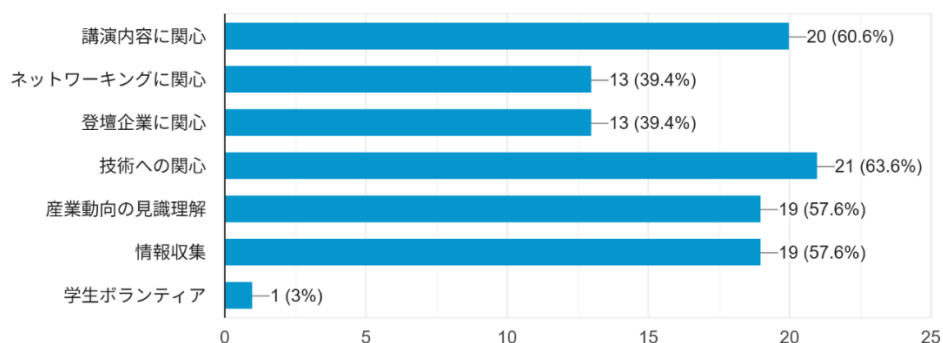
問6.今回のイベントについていかがでしたか。

33 件の回答



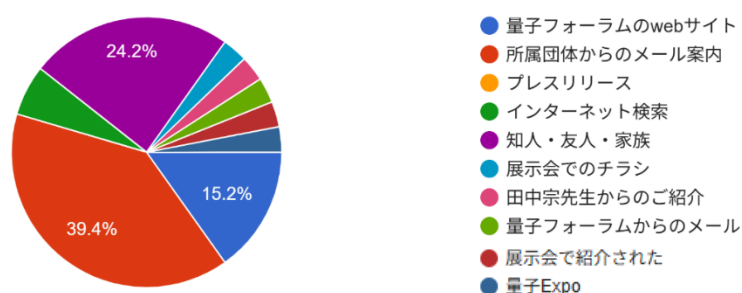
問 7.今回のイベントへの参加理由をお聞かせください。(複数回答可)

33 件の回答



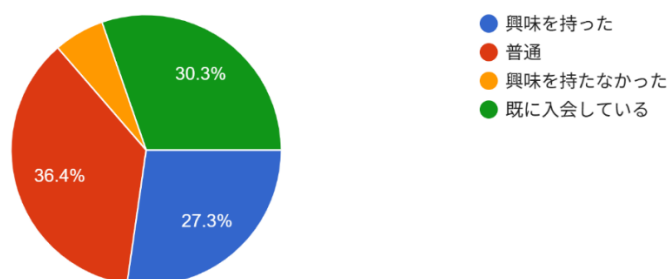
問 8.今回のイベントを知ったきっかけについてお聞かせください。

33 件の回答



問 9.今回のイベントに参加して、量子フォーラムへの入会に興味を持ちましたか。

33 件の回答



問 10.イベント全体についてご感想をお聞かせください。

13 件の回答

- 量子技術を理解する上で、大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- 国外のスタートアップが複数者集まり、ネットワーキングができるという非常に貴重な機会

をくださりありがとうございました。様々な方とネットワーキングをすることができ、満足度の高いイベントでした。

- 大変参考になった。
- 講演について、大変参考になった。会場がオシャレでよかった。
- 海外企業の多数登壇があり、貴重な機会だった。
- 短時間でしたが密な内容を聞けました。
- 様々なスタートアップの新鮮な話を聞いたのがよかった。

このような会を通じて量子のコミュニティを広げていくことが、分野・業界の発展に繋がるのだと実感した。

- 知らないスタートアップを知れた。
- スムーズなアジェンダ進行で豊富な情報を得ることができた。
- 普段目にすることのない海外スタートアップ、しかも思っていたよりも成熟している企業について知ることができ有意義でした。
- 良かったです。
- 通訳があった方が良いのでは。
- 第一線の企業の話が聞けて、かつ、ネットワーキングの時間もありとても有意義なイベントでした。

問 11.今後のイベントで取り上げてほしいテーマやトピックがございましたら教えてください。

8 件の回答

- 量子コンピュータ
- 量子機械学習 量子アート
- 量子通信、量子センサ
- 量子アニーリングのスタートアップ企業の話
量子ゲートと量子アニーリングの融合技術など
AI と量子コンピューティングのハイブリッド技術など
- 量子インターネット
- 特にありません。
- 量子コンピュータのしくみ・基本知識などを説明するセッションがあるとありがたいです。
先日の Expo で多くの人に質問してみたが、量子コンピュータとは何か？を説明できる方はいなかった。量子関係者は、専門的過ぎて一般の人には理解しづらいと思います。
- 量子コンピュータのハードウェア開発の技術動向

問 12.その他、イベントに関するご意見やご感想があれば教えてください。

7 件の回答

- 量子ソフト関連の研究開発についての報告が必要。
- プレゼンした会社の公表用事業概要資料は、できればダウンロードできるとありがたい。
- 量子フォーラムは個人でも入れるのでしょうか？

- 当日の発表資料をいただけると幸いです。
- 特にありません。
- 可能であれば、夕方以降の飲食を伴う”以外”のネットワーキングを考えてほしいです。中々参加が難しいので・・・。
- メールでのイベント告知などがありましたら幸いです。

■ 登壇者アンケート結果

Q1. 日本は世界の量子産業の中でどのような位置づけと捉えていますか。どのような連携をしていきたいと思っていますか。(例：日本はアカデミアのレベルが高く、共同研究を探索したい。日本はユーザー企業が多く、ユースケース探索を一緒にしたい)

3件の回答

- Japan is one of the well-established hub in the world for quantum technology. We are interested in teaming up with Japanese academia or industry players to develop quantum computing use cases.
- Japan is very strong in the global industry. Lots of strong research groups, companies, and large government initiatives.
- Every Japanese company I have met has a team who are at least aware if not practicing quantum and for this reason I see Japan as a leader. I would love to collaborate with industry to help show the rest of the world the potential of quantum in real applications vs focusing on research papers and theoretical uses.

Q2. 量子フォーラムでは今後も海外スタートアップの皆様と日本の量子エコシステムをブリッジする活動を行っていききたいと思います。どんなイベントや支援があると嬉しいですか？

3件の回答

- Match up between startup/academia and platform services players like OQC would be appreciated. Also sponsored open-source event or hackathon would be good.
- Technical conferences are always helpful.
- continuing to do more of these events but having more interaction with the audience I think would be good. Less presentations and more opportunity for discussion / Q&A on what has been presented.

Q3. その他のご意見

1件の回答

- Thank you for the opportunity to participate!

2. 量子×流体解析イベント企画に向けた専門家ヒアリング

概要：アビームコンサルティング株式会社(正会員法人)より「量子技術と流体解析を融合したイベントを開催したい」との相談があり、当委員会にて対応を検討し、専門家をご紹介した。

第1回ヒアリング

- ・日時：9月3日(水)15:00~16:30
- ・形式：オンラインミーティング
- ・対応専門家：川畑 史郎先生
(法政大学 情報科学部 教授、量子コンピュータ技術推進委員会 副委員長)

第2回ヒアリング

- ・日時：9月8日(月)14:00~15:00
- ・形式：対面・オンライン併用(ハイブリッド形式)
- ・対応専門家：佐藤 勇気様(株式会社豊田中央研究所、正会員法人)

3. 講演会

量子の時代は来るのか?社会を変えるテクノロジーの本質

主催：アビームコンサルティング株式会社(社員向け教育イベント)

日時：2025年10月1日(水)12:00~13:00

形式：オンライン開催

参加者：40名程度

講演：「量子コンピューティング分野の研究開発の現状と今後」

講演者：田中 宗

(慶應義塾大学 理工学部物理情報工学科 教授、量子コンピュータ技術推進委員会 委員長)

概要：

アビームコンサルティング株式会社(正会員法人)より、量子コンピューティングをテーマにした講演依頼があり、当委員会にて講演者の選定を検討した結果、委員長 田中宗氏が登壇することとなった。

講演では、最新の量子コンピューティング分野の研究開発や業界動向について解説がなされた。参加者からも量子コンピュータ分野におけるケイパビリティ強化として非常に有意義な機会となったとお声をいただいた。

以上

【量子計測・センシング技術推進委員会 活動報告】波多野 睦子委員長

1. 委員会の開催

■2025 年度 量子計測・センシング技術推進委員会(企画)

開催日時：2025 年 4 月 28 日(月) 10:00～11:00

開催場所：オンライン会議による開催

議題:

- 2024 年度の QMS 委員会活動総括

- 2025 年度の QMS 委員会活動計画

- 技術推進委員会総会(オンライン)を 6 月中旬までに実施
 - 当該分野の主な技術動向を 10 分程度のショートプレゼンテーション
 - フォーラム会員の聴講を想定
- 基礎講座の開催
 - 年 2 回程度の開催
- シンポジウム企画等の検討

■量子計測・センシング技術推進委員会総会 ～活動報告と動向俯瞰シンポジウム～

以下の要領で、量子計測・センシング技術推進委員会総会～活動報告と動向俯瞰シンポジウム～を開催した。

1. 主催：量子計測・センシング技術推進委員会

2. 開催日時：6 月 13 日(金)

16:00～17:00 フォーラム会員対象

17:00～17:30 量子計測・センシング技術推進委員のみ

3. 開催場所：オンライン

4. 講演題目

・開会挨拶と活動報告

荒川 泰彦 委員長(東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構

特任教授、量子フォーラム 量子計測・センシング技術推進委員会 委員長)

・量子計測・センシング分野の動向俯瞰シンポジウム

講演Ⅰ：香取秀俊委員(東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻 教授)

講演Ⅱ：竹内繁樹委員(京都大学工学研究科電子工学専攻 教授)

講演Ⅲ：上妻幹旺委員(東京科学大学 総合研究院 教授)

講演Ⅳ：大島武委員(量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所
センター長)

講演Ⅴ：河野秀俊様(量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所 副室長)

閉会挨拶

早坂和弘幹事(情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 副室長)

5. 量子計測・センシング技術推進委員による意見交換

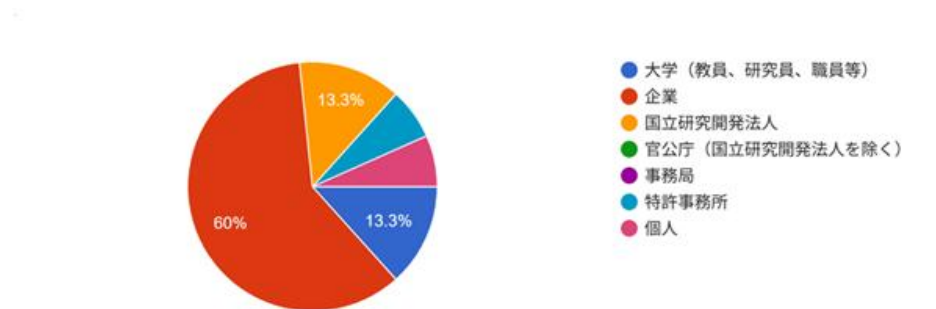
6. 参加者：36 名

7. アンケート：回答者 15 名

アンケート結果は下記の通りである。

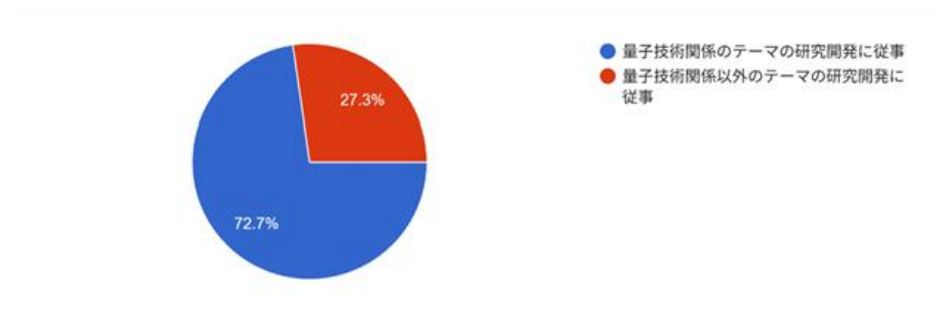
問 1. ご所属を教えてください。

15 件の回答



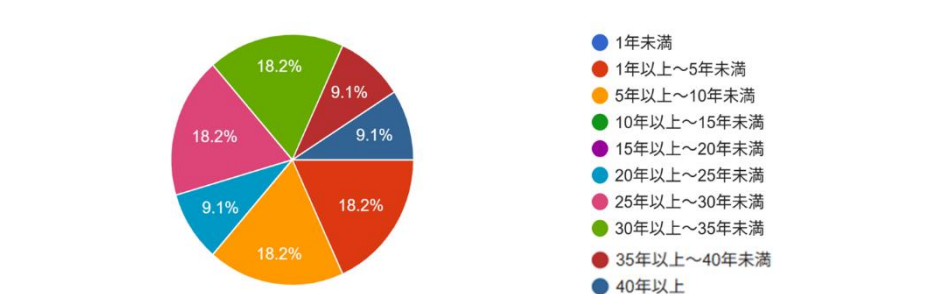
問 2. 研究開発に従事されている場合、以下にご回答ください。

11 件の回答



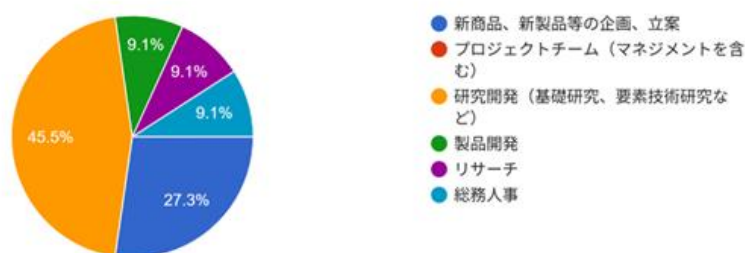
問 3. 研究開発に従事されている場合、研究開発歴は何年になりますか？

11 件の回答



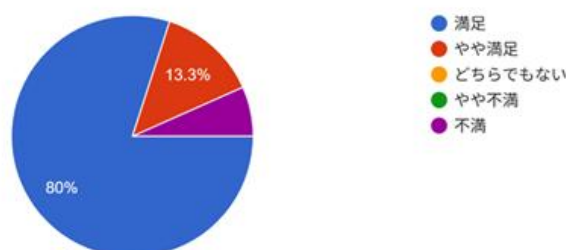
問4.企業に在籍されている方にお聞きします。企業であなたの所属する部門を教えてください。

11 件の回答



問5.全体的な内容について教えてください。

15 件の回答



問6.今回のシンポジウムについて、ご感想をお聞かせください。

12 件の回答

- とても参考になりました。ありがとうございました。
- 個々の先生方の技術領域における最新の課題認識を感じ取ることができ有益でした。
- 本日の資料を共有いただけると有難いです。
- 最先端の技術動向概要を広く、手軽に聞けて大変良かったです。
- 最前線で研究されている先生方の研究内容に関するご講演を拝聴する機会ありがとうございました。社会実装に関するご講演は殆どなく、斬新で且つ研究開発に従事していない人間にとりまして非常に理解し易かったです。学生の頃レーザを用いた実験をしておりましたので、京都大学の竹内繁樹先生のご講演が、特に、興味深かったです。
- コンパクトに俯瞰できて大変良かったです。それぞれの分野のトップの先生方が集まっていって驚きました。
- 短時間で密度の濃いお話をお聞きすることできて、量子計測・センシング技術分野の進展を俯瞰することができたように思われる。参加して大変良かったと思う。
- 短時間でしたが、ポイントは把握でき、非常に有用でした。
- どのご講演も短時間で要点がまとめられていて分かり易い内容でした。今後も機会があれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございます。

- 短い時間で色々な情報を聞けて良かったのですが、資料を事前にもらえるとより理解が深まったかもしれません。
- 5つあったが、1件10分は短いです。質疑応答がないのも残念です。
- 光格子時計、非GPSの講演は興味深かった。

問7.今後、量子計測・センシング技術推進委員会で取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

4 件の回答

- 今回のようにコンパクトに俯瞰できる会を定期的の実施いただきたい。
- 量子計測・センシング技術分野の産業での活用例がどのようになっているのか、現状を知ることができるとありがたい。
- デバイスや材料などにももう少し踏み込んでいただけると材料メーカーとしてはうれしいです。
- 光格子時計の最新動向や天測慣性航法など、非GPS関連の最新動向の共有をして頂きたい。

■2025年6月25日総会以降の本委員会の体制

委員長 波多野睦子（東京科学大学）
 副委員長 検討中
 幹事 早坂 和弘（情報通信研究機構）
 松崎 雄一郎（中央大学）
 企画委員 荒川 泰彦（東京大学）
 大島 武（量子科学技術研究開発機構）
 香取 秀俊（東京大学）
 上妻 幹旺（東京科学大学）
 竹内 繁樹（京都大学）
 馬場 嘉信（量子科学技術研究開発機構）
 水落 憲和（京都大学）

■2025年度第二回量子計測・センシング技術推進委員会企画委員会

開催日時：11月14日(金) 18:00～19:10

開催場所：オンライン

出席者：波多野委員長、荒川委員、香取委員、竹内委員、馬場委員、松崎幹事、早坂幹事

議事：

- 資料1 2024年度量子計測・センシング技術推進委員会活動まとめの説明
- 資料2 2025年度量子計測・センシング技術推進委員会活動の実施計画の説明
- 資料3 量子計測・センシング技術推進委員会総会 ～活動報告と動向俯瞰シンポジウム～開催報告についての説明

- 資料4 国際量子科学技術年記念シンポジウム開催ご案内に関する説明と参加依頼
- 波多野委員長による委員会活動に関する構想の説明
- 企画委員との意見交換
 - 企業との連携というコンテキストでいろいろなところに出る必要があり、効率的に一回でできるようになればありがたい。
 - 基礎講座では若手の講師に活躍できる機会があればよい。
 - 共通基盤となる技術の交流などに関して対面である故に直接お話を聞ける場合がある。対面での交流の機会を量子フォーラムに設定していただけるとありがたい。
 - 企業様から、「博士課程を修了した人材を採用したい」、というような声が学生さんたちに聞こえるような機会があるとありがたい。
 - 量子計測・センシングのキラーアプリは何かという質問を研究プロジェクトの評価の際にされるが、対面で企業の方からキラーアプリについて聴けるような機会があればありがたい。
 - まわりでのスタートアップ企業の状況に関する情報交換。
 - 波多野委員長による重要技術領域検討ワーキンググループに関する情報提供
 - 量子計測・センシングにおいて、国際標準化は一つの重要なターゲットであるため、本フォーラムが一つの活動の場となるか検討開始したい。

2. 第5回量子コンピューティング EXPO【春】出展協力

開催日時：2025年4月15日（火）～17日（木）10:00～17:00

開催場所：東京ビッグサイト

出展ご協力：量子科学技術研究開発機構(QST) 量子生命科学研究所 馬場嘉信所長

以上